

科目名	総合実習 1							年度	2025		
英語科目名	General Practice 1							学期	前期		
学科・学年	デザイン科	インテリアデザイン専攻	1年次	必/選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	小川 知子				教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築士			
【科目の目的】 建築・インテリア図面のかきかたを知り、自分のデザインを図面に表現するために必要な、基本的な図面表現のしかたを学ぶ。											
【科目の概要】 概要1：製図道具の使い方、図面記号、線の種類、作図のルール、図面の種類の理解 概要2：線種の使い分け、建具記号、家具図の描き方 概要3：木造、鉄筋コンクリート造の平面図、展開図、断面図、立面図の図面表現 概要4：実際に存在している空間の図面の書き起こし											
【到達目標】 到達目標 A：図面記号や線の書き分けができる 到達目標 B：空間を理解し、断面線や見えがかり線を区別して表現できる 到達目標 C：実際の空間を計測し、平面図や展開図に起こすことができる 到達目標 D：構造や建具、家具を適正な線種、寸法で図面に表現できる 到達目標 E：三面図を理解し、家具図に表現することができる											
【授業の注意点】 製図道具は大切に扱い、必ず持参すること。授業開始時に説明を行うので遅刻しないこと。課題の提出期限を必ず守ること。全ての課題の提出を持って合格とする。また、授業時数の3/4以上の出席がないものは合格することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう					レベル1 要努力		
到達目標 A	図面記号や線種を理解し しっかりかき分け ることができる			図面記号や線種をおおよ そ理解し、しっかりかき 分けすることができる					図面記号や線種を理解で きておらず、書き分けが できない		
到達目標 B	空間を理解し、線種を区 別して表現することが できる			空間を概ね理解し、線種 をおおよそ区別して表現 することができる					空間を理解できておら ず、線種を区別して表現 することができない		
到達目標 C	空間を実測し、それを平 面図や展開図に正確に表 現することができる			空間を実測し、それを平 面図や展開図に概ね正確 に表現することができる					空間を実測し、それを平 面図や展開図に表現す ることができない		
到達目標 D	構造や建具、家具を適正 な線種や寸法で正確に図 面に表現することができる			構造や建具、家具を線種 や寸法を概ね正しく図面 に表現することができる					構造や建具、家具を正し く図面に表現することが できない		
到達目標 E	家具を三面図に、正確に 表現することができる。			家具を三面図に、概ね正 確に表現することができる					家具の三面図を理解でき ておらず、表現するこ とができない		
【教科書】 「やさしく学ぶインテリア製図」											
【参考資料】 プリント配布あり											
【成績の評価方法・評価基準】 課題成果物 60% 習熟度 30% 平常点 10%											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		総合実習 1			年度	2025
英語表記		General Practice 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	線の練習	道具の扱いに慣れる	ガイダンス	授業の目的、すすめかた	2	
			道具の名称と扱い	製図道具の名称と使い方を理解する		
			線のひきかた	線のひきかた、太線、中線、細線の役割の理解		
2	線の練習	各種の線種のかきわけ	線のひきかた	各種の線を縦横の差がなくひけるようになる	2	
			三角スケール	三角スケールを使いこなせる		
3	図面記号と建具記号	各種記号を理解する	建具記号	開閉記号を理解し、かけるようになる	2	
			図面記号	数字や文字、図面記号の約束を理解し、書ける		
4	家具図	三面図の理解	三面図	三面図の描き方を理解し、作図できる	2	
			家具の断面	家具の構成を理解し、断面をかける		
5	RC造マンションの作図	平面図	平面図の概念	平面図の基本的な考え方を理解する	2	
			構造、建具をかく	基準線、下書き線、太線、中線の書き分けができる		
			家具、造作をいれる	高さの違いによる表現違いを学ぶ		
6	RC造マンションの作図	平面図・展開図	文字、寸法の記入	文字、寸法、縮尺、方位等を正しく記入できる	2	
			展開図の概念	展開図の基本的な考え方を理解する		
			床・壁・天井	構造体、建具を正しく図面に入れられる		
7	RC造マンションの作図	展開図	家具、造作を入れる	断面線、中線を区別して書き分けられる	2	
			文字、寸法の記入	文字、寸法を正しく記入できる		
8	空間の実測と作図	平面図	実測メモの図面化	図面をつくるために必要な実測箇所を把握できる	2	
			平面図をかく	見本の図面がなくてもメモを基に平面図がかける		
9	空間の実測と作図	平面図	平面図をかく	実測してきたメモをもとに図面化できる	2	
			数字や文字の記入	他者が理解しやすい図面をかくことができる		
10	空間の実測と作図	展開図	展開図をかく	実測メモをもとに、展開図をかくことができる	2	
			数字や文字の記入	他者が理解するのに必要な情報を入れることができる		
11	木造住宅の図面	1階平面図	木造軸組の構造をかく	柱、間柱、壁を平面図にかくことができる	2	
			建具記号の記入	建具記号を記入することができる		
12	木造住宅の図面	1階平面図	家具や造作、階段	線種を使い分けながら、わかりやすくかける	2	
			文字、数字の記入	他者が理解しやすい情報をいれることができる		
13	木造住宅の図面	断面図	構造の記入	平面図や矩計図や詳細図を基に断面図がかける	2	
			建具の記入	断面線と中線のかきわけができる		
14	木造住宅の図面	断面図	家具、造作の記入	断面線と中線の書き分けができる	2	
			文字、寸法の記入	わかりやすく必要な情報をいれることができる		
15	木造住宅の図面	立面図	立面図をかく	見本をもとに立面図をかくことができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	総合実習 1							年度	2025		
英語科目名	General Practice 1							学期	前期		
学科・学年	デザイン科	インテリアデザイン専攻	1年次	必/選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	小川 知子				教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築設計			
<b>【科目の目的】</b> 建物の構造や構法、材料、造作等を学ぶことにより、建築物がどのようにして出来ているのかを理解する。 インテリアコーディネーター1次試験に合格するための基本的な力をつける。											
<b>【科目の概要】</b> 1. 各種構造：木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨造、その他の構造 2. 建築構法：床の構法（木造、RC造、S造）、壁の構法、天井の構法 3. 造作と造作材：大壁と真壁、床の間、見切り部材、階段、開口部回り 4. 材料：機能材料、木材、木質系材料、プラスチック系材料、畳、石材、タイル、左官材料、壁紙、ガラス 5. 建具など：ドア、引き戸、襖と障子、サッシの種類、建具金物、錠、鍵 6. 建築図面の記号や図面の種類											
<b>【到達目標】</b> 到達目標 A：建築一般構造に関する基礎知識を身に付け、それぞれの特徴を理解する 到達目標 B：床・壁・天井の構法や下地と仕上げについての基礎知識を身に付け、それぞれの特徴を理解する 到達目標 C：和室や階段を始めとするインテリアの造作についての基礎知識を身に付け、それぞれの特徴を理解する 到達目標 D：木、左官材料、ガラス、石などの材料についての基礎知識を身に付け、それぞれの特徴を理解する 到達目標 E：建具や錠などについて基礎知識を身に付け、それぞれの特徴を理解する											
<b>【授業の注意点】</b> 授業時には、テキスト、ノートを持参すること。授業後には復習すること。授業内容を理解しているかを確認するために、翌週の授業開始時に小テストを行うので、遅刻しないこと。 授業の最終回には期末試験を行う。授業時数の3/4以上出席しない者は不合格とする。 また、小テストと期末試験において一定の基準に達しなかった者も不合格とする。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	各構造に関する特徴をとともよく理解している			各構造に関する特徴を概ね理解している				各構造に関する特徴の理解が不十分である			
到達目標 B	各建築構法についてとともよく理解している			各建築構法について概ね理解している				各建築構法についての理解が不十分である。			
到達目標 C	造作についてとともよく理解している			造作について概ね理解している				造作についての理解が不十分である			
到達目標 D	各材料についてとともよく理解している			各材料について概ね理解している				各材料についての理解が不十分である			
到達目標 E	建具等についてとともよく理解している			建具等について概ね理解している				建具等についての理解が不十分である			
<b>【教科書】</b> インテリアコーディネーターハンドブック統合版下											
<b>【参考資料】</b> プリント配布あり											
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 小テスト 30% 授業内容の理解度をはかる 期末試験 50% 授業内容の定着度をはかる 平常点 20% 授業態度 出席状況による											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		総合実習 1			年度	2025
英語表記		General Practice 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	建築設計図書	製図記号・図面の種類の理解	ガイダンス	授業の目的と授業の進め方を理解する	1	
			製図の約束事	線種の意味、使い方を理解する		
			建築図面の種類	図面を読むことができる		
2	図面表現	二次元・三次元の表現方法を知る	立体表現の方法	立体表現の種類とかき方を理解する	1	
			透視図のしくみ	透視図のしくみと用語を把握する		
3	建築の構造	木造軸組構法	木造軸組の構成	各部材の名称と役割を覚える	1	
4	建築の構造	木造軸組構造 その他の木造	木造軸組の構成	基礎から小屋組までの構成を理解する	1	
			ツーバイフォー構造	軸組との違い、特徴を理解する		
5	建築の構造	木質系材料 鉄骨造	木質系材料の種類	各材料の材料と特徴を理解する	1	
			鉄骨造の種類と特徴	鉄骨造の種類と鉄の特徴を理解する		
6	建築の構造	鉄筋コンクリート構造 コンクリート	鉄と木とコンクリートの違い	各種構造の特徴と違いを理解する	1	
			RC造の特徴	各構造と特徴を理解する		
			コンクリートの性質	コンクリートの種類と特徴を理解する		
7	建築構法	床・壁・天井の構法	床の構法	構造、下地、仕上の組合せを理解する	1	
			壁の構法	仕上げに合わせた下地の組合せができる		
			天井の構法	仕上に合わせた下地の組合せができる		
8	造作と造作材	内壁と床の間 見切り材	和室の造作	壁、床の間、押し入れについて理解する	1	
			洋室の造作	見切り材について理解する		
9	造作と造作材	階段と開口部まわり	階段の名称と特徴	各部名称と階段の種類と特徴を理解する	1	
			建具周辺の造作	建具回りの造作について理解する		
10	建築材料	機能材料 ガラス	断熱材と吸音材	各種材料の長所と短所を理解する	1	
			防火材と防水材	各種材料の長所と短所を理解する		
			ガラスの種類	各種ガラスの特徴を理解する		
11	建具	建具と建具金物	開き戸	各種開き戸の種類と名称を理解する	1	
			引き戸	襖・障子を含めた引き戸の種類と特徴を理解する		
			建具金物	錠と鍵を含めた建具金物の特徴を理解する		
12	材料	木・プラスチック系 畳	木質系材料	フローリングの特徴と施工について理解する	1	
			プラスチック系床材	材料の分類と特徴について理解する		
			畳等自然素材	畳の構成と各部名称を理解する		
13	材料	石材・レンガ・タイル	各種石材の特徴	よく使われる石の種類と特徴を理解する	1	
			レンガのサイズと種類	レンガの種類、サイズ、積み方について理解する		
			各種タイルの特徴	各種タイルの呼称、特徴、注意点を理解する		
14	材料	左官材料・壁紙・塗料	湿式仕上げの種類	各種左官材料の種類と特徴について理解する	1	
			壁紙の種類と施工	壁紙の特徴と下地の調整について理解する		
			塗料の種類と特徴	各種塗料の特徴について理解する		
15	期末試験	期末試験	授業の習熟度の確認		15	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	総合実習 1							年度	2025
英語科目名	General Practice 1							学期	前期
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	二村美里		教員の 実務経験	有	実務経験の 職種	インテリアデザイナー			
<b>【科目の目的】</b> ①以下を目的とし、担任と生徒マンツーマンで面談を行う。 ・将来やりたい仕事など、現時点での目標の確認の場として。 ・学校生活における悩みや、普段の授業での困りごと等の相談、出席率や未提出物の確認など。 ・普段の授業で円滑なコミュニケーションができるよう、お互いを知る場として。 ②学生同士の交流を目的に新入生レクリエーション実施したり、ホームルームを実施することもある。									
<b>【科目の概要】</b> 皆さんの学校生活が楽しく円滑に送れるよう、相談の場としてこの面談の時間を設けています。 進路の相談、授業での悩み事、気になっている事など、気軽に相談してください。 また、皆さんのことも知りたいと思っていますので、高校時代頑張っていたことや好きなものについて教えてほしいと思っています。 堅苦しい場でないで、肩の力を抜いて気軽に来てください。									
<b>【到達目標】</b> A. 先生や学生と円滑にコミュニケーションを取ろうとする。 B. 現時点での将来の目標を立てようとする。 C. 普段の授業で改善の必要がある事項がある場合は、今後どう解決するか計画を立てられる。									
<b>【授業の注意点】</b> ・自身の面談日以外は出席不要。 ・自身の面談日は必ず出席すること。欠席した場合は出席率に影響するため注意が必要。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	先生や学生と円滑にコミュニケーションが取れる		先生や学生と円滑にコミュニケーションを取ろうとする					先生や学生と円滑にコミュニケーションを取ろうとしない	
到達目標 B	現時点での将来の目標がある		現時点での将来の目標を立てようとする					現時点での目標を立てようとしていない	
到達目標 C	普段の授業で改善の必要がある事項がある場合は、今後どう解決するか対策を立てられる		普段の授業で改善の必要がある事項がある場合は、今後どう解決するか対策を立てようとする					普段の授業で改善の必要がある事項がある場合は、今後どう解決するか対策を立てようとしていない。	
<b>【教科書】</b> なし									
<b>【参考資料】</b> 随時classroomへアップ									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 評価基準はルーブリック評価に基づく。 出席率や授業態度も評価の対象とする。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		総合実習 1			年度	2025
英語表記		General Practice 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標=修得するスキル	評価方法
						自己評価
1	新入生レクリエーション	到達目標Aの達成	1	学生同士の親睦を深める	先生や学生と円滑にコミュニケーションが取ろうとする。	2
2	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
3	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
4	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
5	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
6	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
7	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
8	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
9	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
10	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
11	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
12	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
13	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
14	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	
15	面談	到達目標ABCの達成	1	親睦を深める	円滑にコミュニケーションを取ろうとする	2
			2	目標設定	将来の目標を立てようとする	
			3	生活指導	授業に支障出ないよう計画を立てようとする	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等